

原風景

Original Scenery of My Work

日比野ルミ

Rumi Hibino

昨今よく聞かれる言葉となった、「DV家庭」に私は育った。外側から見れば普通なのに、内側は常に緊張した家庭環境にあって、理不尽な暴力の不安と常に隣合わせだった。家族の極端な二面性に戸惑いながら、このままでは、いつか被害者ではなく加害者になりかねないと感じていた。19歳の時に東京に進学し、家を離れた。その頃に本当に絵を描くことが好きだったのかはよくわからない。私にとっては家を離れることのほうが重要だった。東京では、念願かなって全てから開放されたつもりでいたが、人の善意を全く信じられないようになっていたことに愕然とした。当然、対人関係では人知れず困難が付きまとった。日常生活では、どんな時もある種の緊張状態が続き開放されることはなかった。随分後になって、DV家庭に育った子供の支援には、安心、つながり、表現の三つが必要という主旨の論説を知った。安心とは、身を守るために緊張していることが常となってしまった状態から、開放されるような時間や場所を得ることである。つながりとは、その緊張を解く人間との出会いと、支えを得ること。表現とは、感情を押さえることに慣れてしまった状態からの開放となるような、正直な感情表現の機会を得ることである。一般的には、これらが無ければ、そのストレス状態に耐え切れず様々なトラブルを起こす様になるらしい。極端な場合、それが外側に向けば犯罪に、内側に向けば自傷行為に結びつく。私の場合は、18歳の頃に、まず理解者との出会いがあった。また、今は安心できる場所、時間も少しずつ得られるようになりつつある。その中で長い時間をかけて、人を信じる事が出来るようになった。これらの回復は、制作することがあったからこそだと思う。だが、本気で続けていこうと決めた表現の世界では、それはハンディに感じられる。振り返ると約20年間の私の表現は、感情の吐露に終始している。つまり、私の表現は未だリハビリの延長上にあるということだ。もっと先に目指すものは、普遍性をもつ表現の獲得であり、作品は、個人的な環境や状況からは切り離されても共感されるものでありたい。残念ながら、私は、まだその出発点にさえ立っていないでいる。生きているうちに出発点に立てるのかさえ危うくなってきたけれど、制作するプロセスそのものが私には最も必要だ。

私は自分の生い立ちが特別なものとは決して思えない。だが、このような体験を持たない人と同様に、自分が進むことも想像できない。特別と思えないのは、これまでの教育の現場で出会った生徒、学生らの抱えていた問題が、内容こそ違うけれども私のものと何ら変わらないと感じるからだ。また、彼らが非常に健気に自分の置かれた環境と戦っているのを目の当たりにしてきた。私は、それしか出来なかったのだが、彼らに継続的な制作を勧めた。制作は、あらゆる面で彼らを救うと信じている。制作の中で人生を学び社会を見る眼を養うことは、日本の教育では軽視されがちであるが、実は非常に大切なことだ。このことを経験者のみが実感するとすれば、幸か不幸か、それは、まだ暫くはマイナーな見解である。それが、私が体験を持たない人と同様の道を進めないと思う理由である。私にとって制作とは、生き方（世界の捉え方）を示すためのもの、そして、その過程で私自身が考え、成長する為のものであった。私自身、制作することによって救われてきたし、生きる力を得た。今も制作があるから困難な物事にも誠意を持って取り組むことができる。



穴 (2002) ミクストメディア



■ 結実 (2001)
パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム アルミ
アクリルガッシュ
182×175cm

■ 岐路 (2001)
パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム アルミ
182×175cm

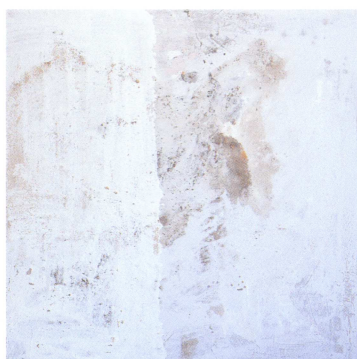
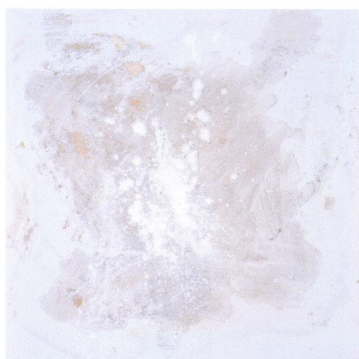
■ 飛躍 (2001)
パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム アルミ
アクリルガッシュ
182×175cm

■ 生長 (2001)
パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム アルミ
銅 アクリルガッシュ
182×175cm

■ 萌芽 (2001)
パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム アルミ
アクリルガッシュ
182×175cm

■ 脱皮 (2001)
パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム アルミ
アクリルガッシュ
182×175cm





壁 一花一 (2003)

パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム
90×90cm

壁 一現人(うつせみ) (2003)

パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム
90×90cm

壁 一泉 (2003)

パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム
90×90cm

壁 一黒い月 (2003)

パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム
90×90cm

壁 一着地するピラミッド (2003)

パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム
90×90cm

壁 一境界線 (2003)

パネル 砥の粉 膠
OGテンペラメディウム
90×90cm

無題 (2002)

木 ガラス 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
30×30×3.5cm

空 (2002)

木 ガラス 和紙 顔料
OGテンペラメディウム
30×30×3.5cm

無題 (2002)

木 ガラス 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
30×30×3.5cm



空 (2002)
木 ガラス 和紙 顔料
OGテンペラメディウム
30×30×3.5cm

無題 (2002)
木 ガラス 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
30×30×3.5cm

空 (2002)
木 ガラス 和紙 顔料
OGテンペラメディウム
30×30×3.5cm

The silent light (2002)
木 砥の粉
OGテンペラメディウム
17.5×19×2.5cm

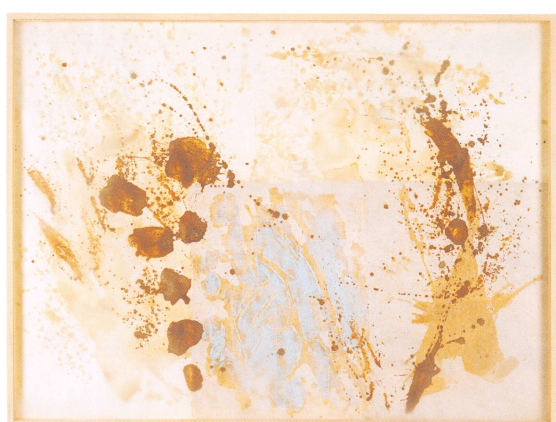
The silent light (2002)
木 砥の粉
OGテンペラメディウム
16×21×7cm

The silent light (2002)
木 砥の粉
OGテンペラメディウム
35×25×7cm

The silent light (2002)
木 砥の粉
OGテンペラメディウム
30×28×7cm

The silent light (2002)
木 砥の粉
OGテンペラメディウム
21×21×7cm

The silent light (2002)
木 砥の粉
OGテンペラメディウム
21×16×7cm



霧 (2002)

木 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
117×91×4 cm

壁 (2002)

木 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
117×91cm

音 (2002)

木 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
117×91×4 cm

夢 (2002)

木 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
117×91cm

泡 (2002)

木 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
117×91×4 cm

風 (2002)

木 和紙 砥の粉
OGテンペラメディウム
117×91×4 cm